

# 令和5年度・前期 議会モ二夕一事業報告書



一関市議会広聴広報委員会

## 【事業報告書の内容】

I. 議会モニターと議員の意見交換会（P2～P6）

II. 議会モニターから書面提出のあった意見等（P7～P13）

III. 議会モニター有志から提出のあった意見書（P14）



10/4 議会モニターと議員の意見交換会でのワークショップ

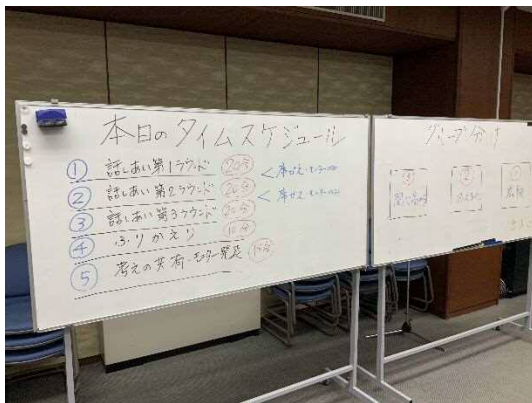
# I. 議会モニターと議員の意見交換会

## 1. 開催概要

- (1) 開催日 令和5年10月4日（金）13：30～15：30
- (2) 場所 議員全員協議会室
- (3) 出席者 議会モニター8名、議員10名（議長、広聴広報委員）
- (4) 意見交換 班に分かれてのワークショップ（ワールドカフェ）

### 【テーマ】

- ① 議会広報
- ② 議会・議員活動の見える化
- ③ 議会への関心を高める取組



## 2. 議会モニターからの主な発言内容

### 【 議会広報について 】

- 新しい広報は思い切った改革をしたと思う。特に表紙のデザインは画期的、素敵だと思うし、一関市らしい。
- 表紙イラストを描いている方が、市内在住者というのもよい。
- 内容、レイアウト、良くなったと思う。表紙がきれい。
- カラーになって読みやすくなった。興味が沸く。
- 見た目の印象がよくなった。
- 表紙の「市民とつながる」の見出しもよい。
- 読みやすくなったが、見てもらうためのPRが必要。
- 特集記事として、小・中学校、高校等を取り上げてはどうか。
- 傍聴に来たくなるような特集記事を掲載してほしい。
- 単語帳（用語解説）は分かりやすくてよい。
- 何を伝えたいのかコンパクトにまとめる必要がある。
- 市広報に挟まって配付されるので見ない。配付の仕方が課題。
- 若者、高齢者に見てもらう方策を検討すべきである。
- LINE や youtube、インスタグラム等を活用して発信されたい。
- 学校へもデータ形式でいいので、配付したほうがよい。（家では親しか見ない）
- 今後の見直しにも期待したい。

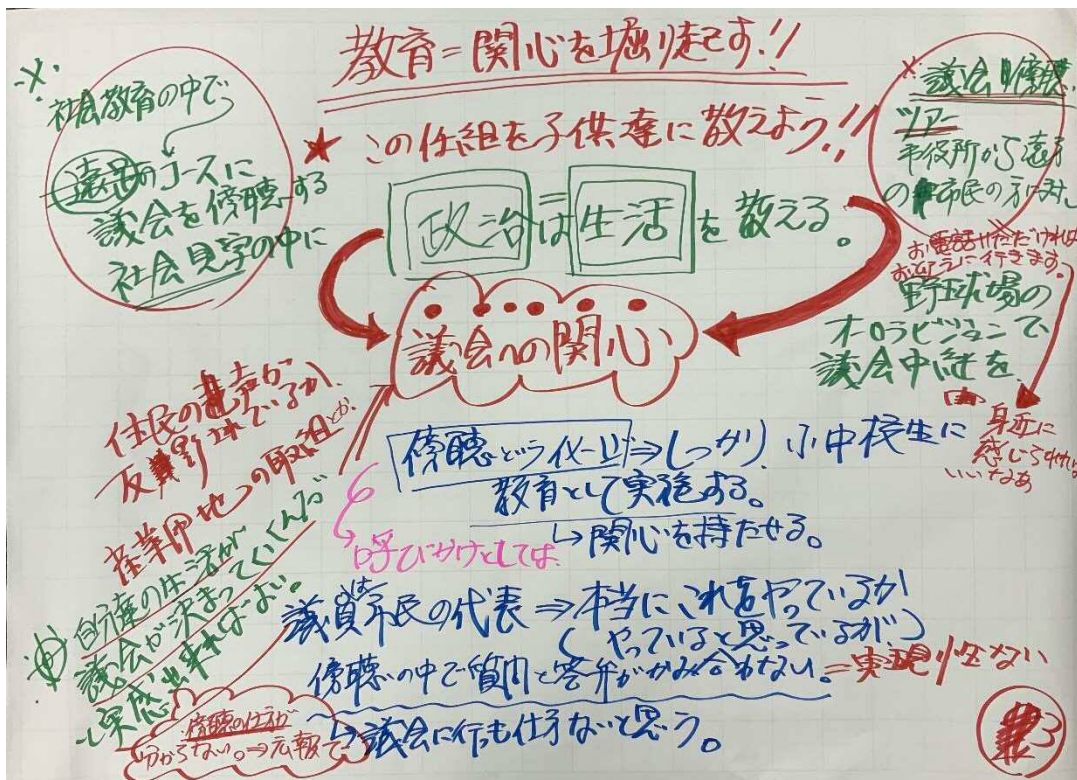


## 【 議員・議会活動の見える化について 】

- 小、中学校、高校の授業の一環として議会傍聴を組み込んでもらってはどうか。
- Uドームや野球場などで議会をやってみてはどうか。
- 移動市長室のように、移動議会などを実施して、市民が議会を見る機会を増やす。各地域、各支所でミニ議会などを開催してはどうか。
- 待っているだけではなく、議会に来てもらう取組を。学校や地域ごとでの議会ツアーの企画など。
- 市民と議員の懇談会を増やす。
- インスタグラムやLINEでの情報発信を。
- 文字だけでなく、画像、動画で情報を発信する。
- 議員個人に関心をもってもらう必要がある。普段どんな活動をしているか知りたい。
- 議会は分かりにくい。市民に何を伝えるか明確にすべき。
- 政治と生活が密着していることを分かってもらう必要がある。そうすれば、議会に関心が沸く。
- 政策提言は、市民に見える場で行ってほしい。
- 各議員は各地域に出向き市民と触れ合う場をもつこと。
- 選挙とは別に、議員の信任投票を実施してはどうか。
- 一般質問の内容や準備に関わった市民を傍聴に誘ってみてほしい。

【 議会への関心を高める取り組みについて（傍聴者を増やす取組） 】

- 議会を開く時間を変える。夜間議会、休日議会。
- いろいろな地域で、議会傍聴についての声掛けをする
- 傍聴者を待つのではなく、迎えにいったり連れてくる。傍聴に来るか方の移動手段を検討されたい。
- 生活に密着しているテーマを市民に伝え、市民が議会や市政に参画するよう働きかける。
- LINE で日々の議会情報を発信
- 小中高生に傍聴する機会を持たせる。議会から学校に案内してはどうか。
- 関心を掘り起こすため住民の声を聞く。若年層との懇談会。
- 学校や地域住民による議会傍聴ツアーを企画してはどうか。
- 閉校校舎を使用した議会主催イベントを開催







## II. 議会モニターから書面提出のあった意見等（～9月末）

議会モニターからは、書面（文書やメール）をもって随時、意見等の提出があります。

以下は議会運営や議会広報についていただいた意見等です。（※一部要約）

### ■No.1 ■意見区分：本会議（6/13）

---

初めて定例会の最初の本会議を拝見しました。

市長から〇〇〇〇氏の紹介がありました。〇〇〇〇さんは自己紹介して退場されました。教育長から〇〇〇〇氏の紹介がありました。〇〇〇〇さんも「〇〇〇〇です。」とだけ言って退場されました。

本会議での人事紹介とはこのようなものなのでしょうか。議会事務局に問い合わせたところ、ずっと以前からそのようなもの、慣習のようなものであると。これ変えた方がいいと思います。

どんなポストなの？何をする人なの？前任者はだれ？

議員さんは知っておくべきですね。市民は知りたいと思います。

そもそも公務員の人事って大事だから議会に市長や教育長が報告するのでしょうか？そうであれば、もっと詳しくきちんと紹介すべきだと思います。

### ■No.2 ■意見区分：本会議（6/15）

---

大東中学校の学生さんたちが傍聴に来ていました。

議会モニターや一般傍聴者は最前列に座らせていただきました。

質問通告書やメモ用紙を置くのに座席に小さなテーブルがあるといいですね。

議長からの「質問・答弁にあたっては簡潔明瞭に、答弁漏れのないように」というお願いは適切だと思いました。

午前中に行われた3人の議員さんの一問一答式一般質問を拝聴しました。それぞれ与えられた質問時間のなかで質問を工夫されているのだらうと思います。

しかしながら、与えられた時間が長すぎるのではないかとと思われるような質問をされている議員さんがいらっしゃいました。

何度も同じような質問を繰り返す。市側の答弁者も「さきほど申し上げましたが」ば



かり。時間をもてあましたのか、「感想をお願いします」ときました。こういう議員さんの質問時間は短くして、他の意味ある質問のできる議員さんにあげてください。自分に質問する力量がないのを自覚して、他の議員さんに質問時間を献上するくらいの度量のある議員さんはいないのでしょうか。

答弁側で気になったのは、質問に答えてない、はぐらかしている、焦点をずらす、といった答弁が多いということ。一例は、補聴器に関する質問にたいする答弁だ。質問議員は、加齢による認知症にとって難聴は大きなリスクだと言っているのに、いやいや難聴だけではない、他にもいろいろ障害はあると試みたり。岩手県でも5市1村が補聴器購入助成をやっているのになぜ一関ではやらないのかと聞いているのに、国がどうのこうの、他の市自治体と相談して提言していくなどと答弁する。これでは答えになっていない。一関市としては補聴器購入助成をやる気があるのかどうか、できないならその理由はなにか、やるならいつまでにどのようにやるのか、予算措置はどうするのか、具体的に答えなければならない。つまり一関市はやる気がないのですね。一関市としてはできません、やる気がないからです、とは答弁できないということでしょうか。わたしの隣で傍聴されていた方は、当事者なんでしょう、すぐにやってください、お願いしますよ、と議場に声をかけていましたよ。

最後に気になったことをひとつ。傍聴席から議員のかたの後姿を拝見していると、頻繁にタブレットPCで何かを閲覧しているのがわかります。質問通告書を見ているのならわかるのですが、インターネット・サーフでもしているのではないかと疑ってしまいそうな画面が出ていることもあります。あれは何を見ていらっしゃるのか、今度教えてください。

### ■No.3 ■意見区分：本会議（6/19）

---

一般質問1日目午前中に傍聴した。2日目は仕事で議会に行けなかった。3日目は午後からの一般質問を傍聴した。

「JR一ノ関駅周辺のまちづくりについて」という質問に注目していた。質問者は市長に質問しているのに、なぜか市長公室長が答弁する。その答弁たるや的外れ。公共施設整備に関するコンセプトというのが問われた。「駅前の立地を生かし、かっこよく働ける場所として求心力のあるオフィス整備」の「かっこよく働ける」って何だと質問者は問うていた。市長に質問していた。しかし市長公室長が答弁する。新任の統括監も出てこない。議長さんから本会議冒頭でお願いがあったように、きちんと答弁すべきだ。答えになっていない答弁を繰り返すのはやめてもらいたい。質問者が質問をしている人が答弁すべきだ。例えば市長が答弁すべきなのに、できなければ自身が答弁できない理由を述べ、他の者に答弁させるなら、その人に答弁させる理由を述べるべきだ。

この日、午後の一般質問を傍聴したのはわたくしひとりだった。わたくしも仕事の後、送迎ポイントが市役所で、帰宅前に市役所に降ろしてもらったから、午後の一般質問を傍聴してみようと思ったわけで、そうでなかったら傍聴しなかったと思う。

モニターの方々が傍聴に議会に足を運ぶのは大変だ。モニター制度は一步前進だが、もっと大勢の方が市の隅々から傍聴に議会を訪れるようにならないといけない。モニター制度は進化すべきだ。例えば、わたくし、報酬いらないので、その分、遠くの市民を議会に運ぶ送迎費に充ててよい。希望者に自宅に迎えに行き、議会にお連れして、終わったら、自宅にお送りする。議会デイサービス方式ですね。

中学生の傍聴はよい取り組みでした。小学生、高校性、高専生、などにも広げたい。格好の社会科教育、有権者教育でしょう、子どもたちの前で、みっともない質問や答弁はできませんよ。わかりやすい質問をすとか、聞かれたことに誠実に答えるとか、議会がお手本にならないと。

#### ■No.4 ■意見区分：本会議（6/23）

---

6月議会の最終日だからモニターの方や傍聴者がたくさん来ているのかなと思った。午前中はひとりの傍聴だった。午後は行かなかったのだからわからないが、誰か傍聴に来ていたであろうか。

冒頭「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書最採択の請願」が議題となった。委員会報告には啞然とした。「不採択にすべき」と報告したのだ。この委員会は市議で構成されているのだろうが、この構成員たちは地方自治とか地方議会の役割とかわかっているのだろうか。請願というのは、社会的に明らかに有害だったり、極端に特定の個人や団体にだけに利害が偏っていたりしない限り、基本的に採択すべきものだろう。請願第1号はどうみても、公共の利益に合致し、現場の教職員や子どもたち、親御さんたちの利益、つまり市民の利益になるものではないか。

この請願を採択すべきとする議員さんの賛成討論を聴いたが、至極まっとうなものだった。現場の声もよく拾われていたし、他の地方自治体でも同じような請願が採択されているというではないか。

反対討論をした議員さんがいたが、その理由にあきれた。「地方議会でこのような請願を採択したところで国の政策が変わることはなから」というのだ。地方自治をわかっているのだろうか。地方の市民の声を国に届けるのは地方議会の仕事ではないのか。他の地方議会と力を合わせて市民の声を国にぶつけて国の政策を転換させた例はないというのか。

一関市議会は、地方自治や地方議会の役割を理解しない、あるいはそれを無視して、市民の声が国に届くのを邪魔した。そんなことをして恥ずかしくないのか。こういう実

態を一関市民は知らなければならない。

議会モニター制度を発展させましょう。花泉、大東、千厩、東山、室根、川崎、藤沢から傍聴に来てもらえるように。議会の期間は送迎の車を用意する。広く宣伝する。モニターの報酬はやめる。モニターを30人くらいにする。

■No.5 ■意見区分：本会議（6/16）

---

○本会議の一般質問について

- ・壇上での質問と再質問は一緒の場所（各議員席）で行ってはどうでしょうか。  
→往復の移動時間などの軽減削減効果あり。

○本会議の一般質問内容時間について

- ・再質問の内容をはじめから全体質問に含めて（数値など事前入手の内容もあるので）一括総括で質問したらどうか。（どうしても答弁を聞いてからでなければ出来ない場合は除く）  
→時間削減効果あり。
- ・持ち時間を消化するための質問は避け、時間短縮に努めてほしい。  
→持ち時間消化のための場当たりの質問はやめたらどうか。（議長の注意を待つまでもなく）

○本会議での市側の答弁について

- ・議会初日等において、副市長が条例や規則の関係で答弁（説明）することがある。単に提案理由などを説明するだけで、あとは関係部長が答弁するという流れであるが、変えた方がよい。  
→最初から関係部長が答弁したほうが効率的である。  
→時間削減の効果あり。（意義を感じない）

○本会議での議場からの質問について

- ・一般質問ののちに市側の答弁がなされたあと、時間を限定したうえで、関連での議場からの質問も受け、市側の答弁を求めるなど、全体議員の質疑参加意欲、議場の一体感と緊張感を持たせてはどうか。  
→質問議員と答弁者・当局だけの今の議場を活性化する効果あり。（現在は、他の議員は議員席に座り、聞いているだけであり、控室などほかの場所で傍聴するのと同じ）



■No.6 ■意見区分：本会議（6/15）

---

6月15日午後の本会議を傍聴しました。

2人の議員さんの質問項目が「閉校校舎の利活用」についてとあり、同じような質問であり、答弁も同様な話の繰り返しとなり時間の無駄と感じました。同じ質問については、まとめて1人の議員さんが質問して効率化を図ってほしいです。（議員さん同志で内容をすり合わせる）

午後の本会議は眠くなるのですが、仕事として議場に居て住民のためにより良い一関を語る場で居眠りしている議員さんやネットサーフィンしているみたいにみえる議員さん、途中でトイレに立つ議員さんがいる。それが常態化しているのかがっかりしました。

自分の質問ではないから本気で取り組んでいないのではないかと感じられる議員さんが見受けられたことは残念。議員みんなが、自分ごととしての課題として一般質問の質疑応答に耳を傾けている姿勢を望みます。

■No.7 ■意見区分：本会議（6/16）

---

16日午後の一般質問（No.8～11）を傍聴しました。

・議会の傍聴について

前日、大東中学校の生徒が傍聴されたと聞いています。どのような感想を持たれたか気になります。今後、高校生や短大生、諸団体にも傍聴を求めてみてはいかがでしょうか。

16日午後の傍聴者は最初の質問時は6名、次の質問時は1名、以降は0名となっています。モニター2名は含まれません。傍聴者に、傍聴の目的や感想やご意見など簡単なアンケートをしてはいかがでしょうか。

・議会運営について

一般質問について、傍聴者にとって分かりにくい専門用語は簡単な説明を加えたり、質問順と回答順が違う場合は事前に質問順を変えるなどして、傍聴者を意識した対応をお願いします。（質問内容を画面に投影されている点は良い点です。）

今回、議員の質問や発言に便乗して傍聴者が発言される場面がありました。議会として緊張感を感じることが出来ました。傍聴者のいない本会議は、全く緊張感のない議会になりかねません。傍聴者を増やすために、会派ごとにアイデアを出し合い、何ができるか話し合ってみてはいかがでしょうか。

また、当日の一般質問終了後、良かった点や悪かった点を確認し合ったり、お互いのスキルアップに繋げていくための反省会を開催してはいかがでしょうか。（何らかの形でやられているとは思いますが。）

質問者が質問した内容については、当局任せっぱなしにならないよう監視していくことも必要になるのではないかと思います。

今後に役立てていただきますようお願いします。

---

■No.8 ■意見区分：本会議（9/7）

議場に居た皆様、なぜマスクをしているのですか？感染対策でしょうか？

感染対策なら、答弁する人が付け、黙って聞いている人は外す。この矛盾を理解されていますでしょうか？

コロナは飛沫感染ではなく、空気感染ですし、「症状の無い健康な人はマスクは不用」です。※東北有志医師の会・参照。議場のアクリル板も不用です。

過剰な感染対策の皺寄せが、子供達の成長の機会を奪い、子供達の健康の弊害になる事に、私達大人が、気付かないといけないと思います。

コロナ禍で出た結果を調べ、理解すれば、何をどう選べば良いか分かります。

マスク社会は、健康な人がマスクを付ける事で存続しています。一関市役所の方々、議員の皆様には、健全な一関市政を目指して頂きたいと思いました。

「一般質問について」

議員の方の質問に対して、市が具体的な答えを出して下さるのは、とても良いと思いました。特に生活に密着している事に関しては、興味を持って聞けました。

この結果を「議員だより」に、いつも掲載されているのですから、傍聴に来られない人も、「議員だより」を読めば知る事が出来ますよね。

読みやすい「議員だより」が、いかに大切か分かります。

---

■No.9 ■意見区分：本会議（9/7、8）

傍聴について

全ての案件を現地にて傍聴する事が難しい場合、ライブ中継にて後日確認したいと思っていました。しかし、サイトを確認した際6月本会議は「作成中」になっていて、ほぼ確認がとれませんでした。今回は（9月本会議）は傍聴したい方だけ、時間を取って傍聴させていただきました。前回より、今回は時間が経っていましたが、数件UPされており、好きな時に再度確認する事が出来ました。いつでも、どこでも聞きたい時に確認が取れる様にもっとネット等（HP・LINE）に配信・QRコード表示されてはどうで

しょうか？一関市のアプリへ【市議会コーナー】としてアイコンを追加されてはどうか？ここ最近は様々なご案内がアップされて、いろんなイベントをLINEで確認することが出来ます。傍聴確認する機会が増えれば、年齢層を問わず色々な意見を集める事が出来ると思います。

9/7 本会議傍聴致しました。

・「女性、若者活躍について」

TGCを本年度開催した経緯から、もっともっと女性や若者へ一関をアピール出来る場を設ける事が必要だと思います。女性・若者意見を取り入れる為に、企業に様々なイベントや要望を協賛など募り、閉校校舎を使用致し、婚活（お見合い）をキャンプやライブなどのイベントを同時開催してみてもどうでしょうか？

・「奨学金返済支援制度について」

Iターン、Uターンで雇用と共に一関市へ移住したい！と思える街づくりを目指してはどうでしょうか？Iターンの方から「一関市家賃高い」「駐車場が少ない」「会社の近くにアパート少ない」などお話を聞いたことがあります。

空き家や市営住宅を一関市企業へ就職したらお安く借れる、何年以上住んだら購入権を与える、住んでみて良かったら格安でお譲りするなど、選べるプランを設けてみてはどうでしょうか？

9/8 本会議傍聴致しました。

・「ベトナム訪問目的と成果、今後予定されている台湾訪問の市政への反映について」

現在ベトナムからの技能実習生の受け入れが最近難しいとお話を伺っております。既に在籍しているベトナム人が多いとしても、台湾だけではなく、フィリピンやミャンマーなど他の国とも交流等を視野に入れご検討されてはどうでしょうか？

・「JR 一ノ関駅周辺開発整備について」

他県の事例を基に、開発整備することは宜しい事だと思います。ただ、車を駅地下に止めてまで行きたい施設があるかにもよると思います。今は新幹線利用、通学だけ駅利用していると思います。他県駅周辺のように、市が管理している図書館や会議室など、駅構内でも利用できる施設があれば尚良いかと思えます。



### Ⅲ. 議会モニター有志から提出のあった意見書

令和5年6月通常会議における議会モニターからの「議会に対する意見書」

表題の件、議会モニターからの上げられた意見を大別すると以下4項目になります  
提言事項をまとめましたので議会活動に役立てていただきますようお願い申し上げます

記

1. 議会運営に関して：議会の進め方を見直し、無駄な時間を削減し効率的な運営を目指すこと
2. 議会傍聴に関して：傍聴者を増やすために具体的に何が出来るかアイデアを出し合うこと
3. 一問一答に関して：当局の曖昧な回答は再質問により具体的な回答を引き出すような討論にすること
4. その他：質問者以外の議員の会議中の姿勢が傍聴者に疑念を感じさせないこと

以上